

## つどいの場活動支援助成事業実施要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、朝来市内で地域住民による地域の仲間づくり、出会いの場づくりを目的に年間で計画を立てて、地域住民が気軽に集う場（以下、「地域ミニデイ活動」という）を実施するグループが、開催にかかる負担軽減と地域ミニデイ活動を継続的に活動できるようにすることを目的に必要な事項を定める。

### (助成対象)

第2条 助成の対象は、朝来市ボランティア市民活動センターに登録のグループとする。

### (助成交付要件及び助成額)

第3条 助成金の交付要件及び金額については、次の通りに定める。

(1) 地域ミニデイ活動を実施しているグループで、当該年度の活動実績回数に応じて次の通り交付する。

ア	24回以上	60,000円を上限に交付する
イ	13回から23回	40,000円を上限に交付する
ウ	4回から12回	30,000円を上限に交付する

### (申請及び決定)

第4条 助成事業を利用しようとするグループは、前もって申請書（様式第1号）を朝来市社会福祉協議会（以下「社協」という。）に提出するものとする。社協は、申請書を精査した上で、速やかに助成の可否について決定し申請者に連絡するものとする。

### (助成金の交付)

第5条 社協は、前条に基づく申請を受理したときは、必要な審査を行い、予算の範囲において助成額をつどいの場活動支援助成金選考結果通知書（様式第2号）により通知するものとする。

### (報告書の提出)

第6条 助成金の交付決定を受けたグループは、事業が完了したとき又は当該年度の2月末までに報告書（様式第3号）を社協に提出しなければならない。

(助成金の交付)

第7条 社協は、助成を交付決定後、速やかに交付決定額の半額をグループへ交付する。なお、残額については、グループから報告書の提出を受け、活動内容及び実績を精査した後に交付する。

(交付決定の取り消し)

第8条 社協会長（以下「会長」という。）は、助成金の交付決定を受けたグループが次の各号に該当すると認めたときは、当該交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。

(1) 助成金を助成事業以外の用途に使用したとき

(2) 虚偽、その他不正の手段により助成金の交付を受けたとき

2 会長は、前項の規定に基づいて取り消しの決定を行った場合には、その旨をつどいの場活動支援助成金交付決定取消通知書（様式第4号）により、申請者に通知するものとする。

(助成金返還)

第9条 会長は、前条第1項の取り消しを決定した場合において、既に助成金が交付されているときはその返還を命ずることができる。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関して必要な事項は、会長が定める。

附 則

1. この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

別表

つどいの場活動支援助成事業助成金対象経費一覧表

対象経費・・・地域ミニデイ活動を行うために必要な費用（お金）のことで、地域ミニデイ活動を行うのに実際にかかった費用、地域ミニデイ活動がボランティア先の対象者（参加者など）へ直接関係する（影響する）費用のこと。

対象経費（科目）	内容
交通費	活動先または活動に必要な資器材購入のための電車及びバス等公共交通機関の乗車賃、自動車等に係る燃料費（ガソリン代など）
郵送費・運搬費	地域ミニデイ活動に関する切手・はがき代、材料及び器材等の運送料
消耗品費	事務用品（ノート、鉛筆、封筒、用紙、カセットテープ等）等の購入費、暖房器具の燃料代（灯油代など）、紙芝居の制作や小物作り等の費用、写真代、飾り付けの費用
印刷製本費	資料及びチラシ等の印刷費（コピーも含む）および製本費
会場等借上費	活動の会場となる施設（水道光熱費を含む）の使用料、器材やDVD等のレンタル代、バスの借上げ賃など
食料費	活動に必要な食材購入費、弁当代等
教養娯楽費	教養施設等への入場料、または活動に直接必要となる書籍（季刊誌、専門誌の講読など）の購入費用
講師謝金	研修会・講習会等に係る講師等への謝金（1日につき、1人1万円までが対象） ※地域ミニデイグループのメンバーのみを対象とする研修会、講習会等や、講師が地域ミニデイグループのメンバーである場合は対象外
研修会等参加費	地域ミニデイグループのメンバーの知識、技能の向上を目的に、他の団体が実施する研修会、講習会等に参加する場合の参加費 ※スポーツ大会などの参加費は、対象外
備品購入費・修理費	備品購入費は、地域ミニデイ活動に係る備品の購入 市からの補助を受けているグループは、充当出来ない 修理費は、地域ミニデイ活動に係る備品の修理に必要な費用を対象

保険料・掛金	ボランティア市民活動災害共済、ボランティア活動行事用保険等、ボランティア活動に関する保険料や掛金（合計5千円までを対象とする） ※自治活動保険、建物共済保険等は対象外
--------	--

※申請書又は報告書への記載時には、税込の金額をお願いします。

※ボランティア活動に直接必要な費用で、上記以外の科目の支出については、5千円までを対象とします。

※報告書には対象経費の領収書の写しと活動2回程度の様子がわかる写真の添付が必要となります。

#### 対象外経費一覧

対象外経費・・・地域ミニデイ活動がボランティア先の対象者（参加者など）へ、直接関係しない（影響しない）費用のこと。

対象外経費（科目）	内容
寄付金・会費等	他者・他団体に対する寄付金、資金援助、負担金、協賛金、会費、景品、贈答品等

